

令和元年度

京都市H I V感染症対策有識者会議  
第1回ワーキング会議

日 時	令和元年10月30日(水)
場 所	京都市役所 西庁舎3階 第2会議室
時 間	午後2時～3時30分

京都市保健福祉局  
医療衛生推進室健康安全課

## 議題：次年度以降の京都市エイズ対策について

京都市においては、京都市エイズ対策基本方針に基づき、エイズ対策に取り組んでいるが、次年度以降のエイズ対策について、具体的な取組内容の検討が必要である。

### 1 京都市エイズ対策基本方針の理念及び基本4施策

#### 理念

H I V／エイズに対する偏見・差別のない「共に生きる社会」の実現

#### 基本4施策

- (1) 正しい知識とH I V陽性者の人権擁護のための普及啓発及び教育の推進
- (2) 相談体制，関係機関連携の充実及び人材育成
- (3) 市民が受けやすい検査体制の整備
- (4) H I V陽性者が安心して療養できる体制の整備

### 2 具体的取組の実績

#### (1) 正しい知識とH I V陽性者の人権擁護のための普及啓発及び教育の推進

##### ア 広域的な普及啓発の推進

- ・ チラシ，ポスター，リーフレット等資材を作成し，地下鉄駅車両広告，各種学校，関係機関等に送付
- ・ 市民しんぶんや市政広報の活用（H I V検査普及週間，世界エイズデー，A I D S文化フォーラム i n 京都，半期広報等）

##### イ 青少年への教育の充実

- ・ 学校からの要望に応じて，各区役所・支所医療衛生コーナーから出前で性教育を実施。実施に当たっては，母子担当部署と連携し，中高生等を対象とした性感染症予防等の健康教育，出前教室に取り組んでいる。

	平成29年度		平成30年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数
中学校	8回	1,446人	22回	2,624人
高校	3回	771人	3回	601人
大学校	0回	0人	3回	281人
専門学校	1回	310人	1回	327人
合計	12回	2,527人	29回	3,833人

##### ウ その他

- ・ 平成28年度から京都産業保健総合支援センターにチラシの配架を依頼
- ・ 平成28年度に企業向けチラシを作成し，企業へ発送
- ・ 平成27年度に本市交通局職員向けに研修会を実施（45名参加）
- ・ 青少年活動センターと連携したイベントの開催
- ・ 世界エイズデー街頭啓発キャンペーンにおいて，関係機関（京都府，青少年活動センター，P L A N E T，京都美容理容専修学校）と啓発活動の実施

## 課題

- ・ 出前教室の回数や受講者等の実績は増加しているが、実施後のアンケート内容が統一できておらず、全体の評価につながっていない。
- ・ 企業向けへの啓発が単発での実施にとどまっている。

## (2) 相談体制，関係機関連携の充実及び人材育成

ア 各区役所・支所医療衛生コーナーにおいて相談受付

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度※
相談件数	263 件	353 件	568 件

※ 平成 30 年度は 1 人のリピーターにより件数が増加

イ 職員向け研修の実施及び派遣

研修内容	対象者	参加人数
疾病概要，H I V 検査相談対応，検査方法，地域支援，思春期保健について等（派遣研修も含む）	医師，保健師，薬剤師，獣医師	162 名

ウ 陽性者への支援

本市の検査で陽性と判明した方については、結果説明時に医師及び保健師が相談及び検査に関する説明を行っている。また、原則、エイズ治療拠点病院への予約支援をしている。

エ 結果通知

即日で結果通知をしている夜間及び土日検査の H I V 検査以外は、後日通知のため、一部、結果を取りに来ない方がいる。

## 課題

- ・ 結果を後日通知する分について、結果通知率が上がる工夫が必要である。
- ・ 相談件数は把握しているが、相談内容の振り返りが出来ていない。

## (3) 市民が受けやすい検査体制の整備

ア H I V 検査数

	H I V	性感染症	性感染症受検率
平成 28 年度	3,457	2,223	64.3%
平成 29 年度	3,787	3,248	85.8%
平成 30 年度	4,168	3,695	86.6%

イ 陽性数及び率

	H I V		梅毒		淋菌		クラミジア	
	陽性者数	陽性者率	陽性者数	陽性者率	陽性者数	陽性者率	陽性者数	陽性者率
平成 28 年度	5	0.1%	40	1.8%	17	0.8%	107	4.8%
平成 29 年度	4	0.1%	26	0.8%	21	0.6%	166	5.1%
平成 30 年度	11	0.3%	19	0.5%	10	0.3%	230	6.2%

ウ 臨時検査の実施

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数	3 回	1 回	0 回 (台風により中止)	1 回
受検者数	96 人	52 人	0 人	58 人
陽性者数	0 人	0 人	0 人	0 人

※ A I D S 文化フォーラムにおける臨時検査を実施（平成 30 年度は台風により中止）。平成 28 年度までは青少年活動センターが実施するイベントに併せて臨時検査を 2 回実施。

エ 検査時間帯別受検者数平均（平成 30 年度）

	平日午前	平日午後	夜間	土日	臨時※
実施回数	102 回	92 回	48 回	48 回	1 回
受検者数	931 人	1,309 人	1,274 人	654 人	58 人
1 回当たりの平均受検者数	9.1 人	14.2 人	26.5 人	13.6 人	58 人

※ 平成 30 年度の臨時検査は台風で中止となったため、令和元年度の件数  
オ 通訳派遣数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
派遣数	13 回	28 回	66 回

カ 各個別施策層の受検率

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
MSM	10.1%	12.0%	集計中
外国人	6.5%	6.1%	
青少年(10 代)	3.1%	3.3%	
青少年(20 代)	42.6%	45.6%	

課題

- ・ H I V 検査受検者数は増加傾向であるが、新規エイズ患者率は減少していない。
- ・ 性感染症検査受検者数は平成 29 年度の検査体制変更後に増加しているが、全国的に増加している梅毒の発見率が低い。
- ・ 平日検査の受検者数が日によってばらつきがある。

(4) H I V 陽性者が安心して療養できる体制の整備

ア 医療機関向け研修会の開催（平成 30 年度）

内容	参加者
H I V 等血液感染予防に関する研修会（京都府共催） 内容：血液媒介性感染症と感染予防対策，H I V ・エイズ患者の透析治療の現状	26 人

イ 介護施設向け研修会の開催（平成30年度）

内容	参加者
高齢者施設等職員研修会「結核を正しく知ろう!!」 内容：結核の基礎知識，施設内で結核が発生したら!？，結核とエイズ	43人

ウ その他

- ・ エイズ治療拠点病院連絡会に出席し，エイズ治療拠点病院や関係機関と情報交換を行っている。
- ・ 地域活動団体にエイズ・性感染症の内容で出前トークを実施（平成29年度，約20人受講）
- ・ 個別相談ケースの対応（エイズ治療拠点病院への長期入院の事例など）

課題

- ・ 今後も引き続き，エイズ治療拠点病院と連携し，介護施設入所支援や高齢者で服薬管理の支援等を要するケースに対応する必要がある。
- ・ 医療の進歩に伴う予後の改善によるHIV陽性者の高齢化に伴い，介護施設へ働きかけが必要である。